



発行 日本共産党国会議員団
2018年5月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F Tel 045-324-6516

国会活動報告

怒りの声 国会包む

4月14日、全国20カ所以上で森友・加計疑惑の真相究明、内閣総辞職を求める行動が行われました。国会正門前の抗議行動には国会前の車道まで参加者で埋め尽くされ「安倍はやめる」「総辞職」の大コールがわき起こりました。

日本共産党の志位和夫委員長が「市民と野党の力を合わせて安倍内閣を即刻退陣させよう」と呼びかけると、参加者は割れるような拍手と歓声で応えました。

森友・加計疑惑について、「首相夫妻の関与の疑惑は黒に近いグレーだ。首相は『ウミを出す』というが、出すべき『ウミ』は首相自身ではないか」と痛烈に批判。「一步一步、追いつめている。この力で安倍政権を倒し、ウソのない正直な政治、日本の民主主義を取り戻そう」と呼びかけました。



スピーチする志位委員長=4月14日国会正門前

熱き一筆、確かに三県で署名提出行動



神奈川、千葉、山梨の3県の日本共産党は4月19日、安倍9条改憲反対3000万人署名の31,059筆(第4次分)の署名を、志位、小池、はたの議員らに託しました。しいば寿幸参院比例予定候補、あさか由香(神奈川)浅野ふみ子(千葉)、両参院選挙区予定候補が同席しました。

署名をはたの議員(中央)に託す参加者。
=4月19日衆議院第1議員会館。

「命の問題なのに?!」木更津オスプレイ定期整備

陸自木更津駐屯地(木更津市)で米軍MV22オスプレイの定期整備が行われている問題で4月26日、はたの議員と地元住民らは防衛省に説明を求めました。住民らは、一日数千人の観光客が訪れる潮干狩りシーズン(5~8月)には、試験飛行をおこなわないよう求めました。試験飛行は海沿いのルートが見込まれ、潮干狩りの人々の真上を飛ぶ可能性があります。防衛省担当者は、「市からも同様の要望は出ているが、この要望を米側に伝えるかは、答えられない」と回答。住民から「命の問題なのに」と、怒りの声が上がりました。



しいば氏、浅野氏、さいとう和子前衆議院議員、丸山慎一県議、篠崎典之、砺波久子、両袖ヶ浦市議、佐藤多美男、鈴木秀子両木更津市議も参加しました。

財務省セクハラ問題で野党合同ヒアリング

福田淳一前財務事務次官が女性記者へのセクハラの事実を認めないまま辞任し、麻生太郎財務相が「はめられた」などと発言をしている問題で4月25日、同省への合同ヒアリングで謝罪と撤回を要求しました。同省は「裁判の結果が出ないと処分は難しい」との麻生氏の発言について「訂正」したものの、「はめられた」発言について謝罪も撤回もしません。



野党合同ヒアリングで発言するはたの議員(左端)=4月25日国会内

麻生氏の「はめられた」発言で、被害女性が「ハニートラップを仕掛けた」という根拠のない流言が出回り、二次被害が拡大していると批判。また麻生氏の「いやだったら男の記者に代えればいい」との発言もセクハラだと抗議し、麻生氏は辞任すべきだと求めました。

JR列車騒音を調査 あさか氏ら改善を要求



現地の住民から話を聞く、あさか氏(左端)、市古市議団長(右から2人目)

川崎市中原区市ノ坪にある高層住宅の住民の皆さんが、JR横須賀線とJR貨物の列車による騒音に苦しんでいます。4月18日、日本共産党の、あさか氏、党川崎市議団の市古映美団長、はたの衆議院議員の秘書が住民とともに現地を調査し、同席したJR貨物の担当者から聞き取りました。

列車が通る様子を見たり、騒音を体感。住民らは、列車が通るたびにガタンゴトンという音が鳴ることなどによって生活に影響が出ている実態を訴えました。

市古・あさか両氏はJR担当者に、住民の実態を受け止めて、早急に改善するよう求めました。

横須賀・海自新施設にヘリポート建設

日本共産党のはたの君枝衆院議員は4月23日、海上自衛隊が横須賀市船越で建設中の新庁舎(海自作戦センター)にヘリポートを併設するとしていた問題で、防衛省担当者から聞き取りを行いました。

県議団の井坂新哉団長、横須賀市議団の大村洋子、ねきしかずこ、井坂直の三議員、しいば氏、さいとう和子前衆院議員、党田浦支部のみなさん、志位衆院議員秘書が同席しました。

同センターは、庁舎1棟、官舎3棟などを建設するもので、自衛艦隊司令部など海上自衛隊の中核担う部署が入居、2021年1月完成予定です。

住民に対しては、今年3月の地元町内会の説明会で初めて明かされました。はたの氏らは「隣接地には中学校があり、事故や騒音被害が発生する可能性がある」と指摘。しかし同省担当者は、ヘリ離発着の頻度は週一回未満だとして「ご理解いただきたい」と述べるのみでした。はたの氏らは「基地負担が増えるということであり、住民の不安にこたえるべきだ」と指摘しました。



日本共産党南関東ブロック事務所だより NO. 44